

トピック(テーマ)	文書を残す、地域を学ぶ		
ねらい	先人が残してきた文書を、どのように保存し、伝えていくのか		
キーワード	子々孫々へ 文書を残してきた人たち アーカイブズ 公文書館法 公文書管理法 国立公文書館 文書館 図書館		
概要を知るためのツール	1	書名	アーカイブ事典
		著者名	小川千代子／編著
		出版社	大阪大学出版会
		出版年	2003.1
		内容紹介	文書館概論、現代の文書館、公文書の保存と公開、多様なアーカイブズ、文書館の運営、文書館専門職、資料保存の科学、紙等を媒体とする記録技術、マイクロフィルムとデジタルアーカイブなど、10章にわたって解説。
	2	書名	地域と人びとをささえる資料
		著者名	神奈川地域資料保全ネットワーク／編
		出版社	勉誠出版
		出版年	2016.5
		内容紹介	地域社会を形成する紐帯としての資料のあり方に着目し、文献、写真、伝承、地名、自然史資料など、地域資料の保存・保全、活用の現場での経験から、地域の人びと、資料と社会との関係の未来像を探る。
	3	書名	これからのアーキビスト
		著者名	知的資源イニシアティブ／編
出版社		勉誠出版	
出版年		2014.4	
内容紹介		社会制度としてのアーカイブづくりの中心となる人材をいかに養成するか。MLA連携や文化資源の組織化などを担える、デジタル化を前提とする将来的なアーキビストのあり方を論じる。	
資料リスト	1	書名	市史編纂から文書館へ
		著者名	小松芳郎／著
		出版社	岩田書院
		出版年	2000.4
		内容紹介	『松本市史』編纂の過程で、調査・収集された文書資料を、どのように整理して保存してきたのかを、具体的に記す。
	2	書名	アーカイブズと文書管理：米国型記録管理システムの形成と日本
		著者名	坂口 貴弘／著
		出版社	勉誠出版
		出版年	2016.4
		内容紹介	米国で発達した文書管理とアーカイブズの連携を重視する記録管理システムについて検証。近代以降の日本における適用の過程
	3	書名	アーカイブズが社会を変える：公文書管理法と情報革命(平凡社新書)
		著者名	松岡 資明／著
出版社		平凡社	
出版年		2011.4	
内容紹介		公文書管理法施行によって、公文書の世界で起きている地殻変動を伝える。	

	4	書名	史料保存と文書館学
		著者名	大藤修／著
		出版社	吉川弘文館
		出版年	1986.9
		内容紹介	
	5	書名	図書館・アーカイブズとは何か（別冊環）
		著者名	粕谷一希／[ほか著]
		出版社	藤原書店
		出版年	2008年
		内容紹介	IT革命の進展、財政経済状況の悪化、人々の選好変化等の社会の構造的変化によって、岐路に立たされる図書館・アーカイブズ。人類の知を担ってきた両者がいま直面する課題と、新しい未来への道を探る。
雑誌	1	論題名	文書史料の保存について：所蔵者のがわから
		著者名	小松芳郎
		雑誌名	松本市史研究
		出版年	1994.3
		巻号頁数	第4号
インターネット情報	1	サイト名	公文書館法
		URL	<a href="http://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0500/detail?lawId=362AC1000000115">http://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0500/detail?lawId=362AC1000000115</a>
		概要	昭和六十二年法律第百十五号の全文
	2	サイト名	国立公文書館
		URL	<a href="http://www.archives.go.jp/">http://www.archives.go.jp/</a>
		概要	国立公文書館デジタルアーカイブが見られる。
新聞	1	記事	長崎被爆後のカラー写真 米国立公文書館
		発行機関	信濃毎日新聞(データベース)
		年月日	2014.6.30
	2	記事	公文書
		発行機関	信濃毎日新聞(データベース)
		年月日	2016.1.17